

施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	余暇を利用した学習機会の提供	施策No	04-08	部課名	教育委員会事務局教育総務課
				課長名	山形 内線 3313
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課、教育センター				
行政評価	分野	II	子育て教育都市		
事業体系	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

目的 土・日曜日、長期休業期間等に、既存施設を活用し児童生徒の学習や運動の機会を提供する。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	子育て・教育環境の充実	3.54	3.59	—	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	校庭利用年間延べ人数	20,976	16,463	5571	5571	25,600	実施回数×実施一回あたりの利用人数
②	小学校科学教育センター申込者数	18	30	0	0	40	8年度の目標値は理科実験室の定員
③	中学校科学教育センター申込者数	22	14	0	0	40	8年度の目標値は理科実験室の定員
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
行政費用	給与関係費	6,200	5,649	▲ 551	地方税等	0	0	0	
	物件費	1,133	752	▲ 381	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	2,434	380	▲ 2,054	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	800	556	▲ 244	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 10,567	▲ 7,337	3,230	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	10,567	7,337	▲ 3,230	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 10,567	▲ 7,337	3,230	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 10,567	▲ 7,337	3,230		

貸借対照表	勘定科目				勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度	2年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	119	105	▲ 14
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	119	105	▲ 14
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	940	730	▲ 210
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	940	730	▲ 210
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,059	835	▲ 224
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 1,059	▲ 835	224	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 1,059	▲ 835	224	
資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	

財務諸表に関する特徴的事項等

○財務諸表の物件費の内訳は、遊具や実験用消耗品購入等に係る経費である。また、補助費等の内訳は、校庭利用指導員及び科学教育センター実施時における指導員への報償費であり、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、科学教育センターの中止及び校庭利用の休止期間があるため、支出が減少した。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○校庭や教育センター等の既存の教育施設を活用して、児童生徒の学習や運動の場を提供している。</p> <p>○校庭利用事業は、児童生徒の安全確保と場所の提供のため、保護者等の協力を得て事業運営を行っている。</p> <p>○令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、緊急事態宣言発出期間中等は校庭利用事業を一時休止している。</p> <p>○令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、小学校・中学校ともに科学教育センターの実施を中止とした。</p>
課題	<p>○子どもたちの理科・科学に対する興味・関心を高める場や子どもたちが安全に遊ぶことのできる場であり、健全な余暇活用や個性の伸長のために、さらなる利用促進を図る必要がある。</p> <p>○校庭利用事業について、各校の状況に合わせた方法で安全な活動ができるよう、運営の支援をする必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○区内における既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域、保護者及び教員の協力を得ながら、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた上で、環境に応じた運営方法や事業内容のあり方を検討していく。</p> <p>○科学教育センターに代わり、各学校での取組内容を充実することで、子どもたちの理科・科学に対する興味・関心を高める場を提供していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
推進	推進	<p>既存施設を有効活用した本施策は、子どもの心身の健全育成や個性の伸長に寄与しており、運営方法を検討しつつ、利用促進を図る。</p>

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
校庭利用運営費	13-01-16	5,173	3,296	2,932	1,132	推進	推進	各学校の校庭利用実施委員会が自校の児童に安心して安全な遊び場を提供するために推進する。
科学教育事業運営	13-05-07	5,394	4,040	635	0	継続	休止・完了	広く児童生徒の理科・科学教育への興味を喚起するため、各学校での取組内容を充実させることとし、本事業については完了とする。
合 計		10,567	7,336	3,567	1,132			